

2014年9月8日

## 3D プリント関連事業に参入 ～RICOH Rapid Fab で、ものづくりのイノベーションを支援～

株式会社リコー(社長執行役員:三浦善司)はこの度、3D プリンターをキーとしたアディティブ・マニュファクチャリング事業(AM 事業)に参入します。事業の第一弾として、ものづくりイノベーション拠点「RICOH Rapid Fab(リコーラピッドファブ)」を神奈川県横浜市と厚木市に開設します。

今年度は2つの「RICOH Rapid Fab」の運営を通して、3D プリンターの仕入れ販売、3D プリンター出力サービス、リコーの実践事例に基づくコンサルティング提案を展開し、今後はグローバルに拠点を順次拡張していきます。なお、日本における販売はリコージャパン(株)が行います。

### <事業参入の背景>

近年、顧客ニーズの多様化に対応するため、製造業では短期間での製品開発プロセスが求められています。3D プリンターは、設計データから手軽に試作品を造形し、時間とコストの節約に貢献できるとして、ものづくりの現場において関心が高まっています。リコーグループでは、20年以上にわたり設計業務で3D プリンターを活用してきた実績に加え、試作や金型加工などの数々の技術を有しています。

こうした実績と技術を融合したAM事業を立ち上げることでリコーは、お客様のものづくりの現場におけるイノベーションを支援いたします。

### <「RICOH Rapid Fab」の概要>

「RICOH Rapid Fab」は、企業の設計・製造部門のお客様を中心に、3D プリンターの活用によるものづくり変革を提案する場です。実際の商品の確認のためのショールームとしてご利用いただけるほか、お客様のデータを用いた3D プリンター出力サービスにも対応します。さらに、リコーの設計現場における3D プリンターの活用事例に基づく、コンサルティングもいたします。

#### ■RICOH Rapid Fab 新横浜 9月8日開設

所在地:神奈川県横浜市港北区新横浜3-2-3 (株)リコー 新横浜事業所内

#### ■RICOH Rapid Fab 厚木 9月下旬開設予定

所在地:神奈川県厚木市下荻野1005 (株)リコー 厚木事業所内

### <リコーの持つ3D プリンター関連技術>

3D プリンターには、インクジェット方式、材料押出堆積方式、粉体積層焼結方式などがありますが、リコーはこれらの方式に必要な要素である、インクジェット技術、材料や粉体の技術を有しております。特に積層ピエゾ技術を用いたインクジェットヘッドは、産業分野向けの外販事業をグローバルで展開しており、サイングラフィックス、三次元造形など紙だけではなく様々なメディアへの印刷応用に幅広くご利用いただいております。

リコーが持つこうした技術を用いて、今後は3D プリンターの自社製造・販売も視野に、さらなる研究・開発を進めてまいります。

---

## ｜ リコーグループについて ｜

リコーグループは、オフィス向け画像機器、プロダクションプリントソリューションズ、ドキュメントマネジメントシステム、ITサービスなどを世界約200の国と地域で提供するグローバル企業です(2014年3月期リコーグループ連結売上は2兆2,369億円)。

人と情報のかかわりの中で新しい価値を生む製品、ソリューション、サービスを中心に、デジタルカメラや産業用の製品など、幅広い分野で事業を展開しています。高い技術力に加え、際立った顧客サービスや持続可能社会の実現への積極的な取り組みが、お客様から高い評価をいただいています。

想像力の結集で、変革を生み出す。リコーグループは、これからも「*imagine. change.*」でお客様に新しい価値を提供していきます。

より詳しい情報は、下記をご覧ください。

[www.ricoh.com/ja/](http://www.ricoh.com/ja/)